

「自立心・対話力・創造性」に基づく到達度調査

神戸女子大学 点検・評価委員会

下の表は、大学の理念・目的・教育目標を示す3つの標語「自立心・対話力・創造性」が示す資質能力を具体的に説明し、その到達レベルを段階的に示したものです。それぞれの能力等について、自分がどのレベルまで達しているか自己評価をしてください。その際、学校の授業、サークルや部活動、ボランティア活動、趣味の活動、アルバイト、家族や友人との関係等、実際の経験に即して評価をしてください。

【自立心】

問1：主体性 問2：責任感 問3：自己理解

【対話力】

問4：協働性 問5：多様性理解 問6：表現力

【創造性】

問7：論理的思考力 問8：問題発見力 問9：計画・実行力

3つの標語		標語の示す資質能力		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
自立心	社会において、独立した責任ある人間として行動するために必要な能力・姿勢	主体性	自分の意志・判断で行動する能力・姿勢	① 義務や課題として取り組まなければならないことについて、指示に基づいて取り組める。	① 義務や課題として取り組まなければならないことについて、指示に基づいて取り組める。 ② 誰かに指示をされなくとも自発的に取り組める。	① 義務や課題として取り組まなければならないことについて、指示に基づいて取り組める。 ② 誰かに指示をされなくとも自発的に取り組める。 ③ 取り組む際には、必ずしも決められたマニュアル通りではなく、マニュアルを踏まえて自分なりに工夫しながら取り組むことができる。	① 義務や課題として取り組まなければならないことについて、指示に基づいて取り組める。 ② 誰かに指示をされなくとも自発的に取り組める。 ③ 取り組む際には、必ずしも決められたマニュアル通りではなく、マニュアルを踏まえて自分なりに工夫しながら取り組むことができる。 ④ あらかじめ義務や課題が設定されていなくても、自ら取り組むべき課題を設定し、それに取り組むことができる。	① 義務や課題として取り組まなければならないことについて、指示に基づいて取り組める。 ② 誰かに指示をされなくとも自発的に取り組める。 ③ 取り組む際には、必ずしも決められたマニュアル通りではなく、マニュアルを踏まえて自分なりに工夫しながら取り組むことができる。 ④ あらかじめ義務や課題が設定されていなくても、自ら取り組むべき課題を設定し、それに取り組むことができる。 ⑤ 新しい知識や技術の修得に積極的であり、自ら関心・意欲をもって修得した知識や技術を、課題の設定とそれへの取り組みに活用することができる。
		責任感	社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢	① 自分が社会や組織の一員であることを自覚している。	① 自分が社会や組織の一員であることを自覚している。 ② 社会や組織の規範やルールに従って行動できる。	① 自分が社会や組織の一員であることを自覚している。 ② 社会や組織の規範やルールに従って行動できる。 ③ 自身が社会や組織から求められている役割を自覚している。	① 自分が社会や組織の一員であることを自覚している。 ② 社会や組織の規範やルールに従って行動できる。 ③ 自身が社会や組織から求められている役割を自覚している。 ④ 自身が社会や組織から求められている役割を果たし、社会や組織に貢献できるように努めている。	① 自分が社会や組織の一員であることを自覚している。 ② 社会や組織の規範やルールに従って行動できる。 ③ 自身が社会や組織から求められている役割を自覚している。 ④ 自身が社会や組織から求められている役割を果たし、社会や組織に貢献できるように努めている。 ⑤ 社会や組織をより良いものにするために、自発的に行動（問題の発見やその解決等）を起こすことができる。
		自己理解	自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢	① 自分なりに自身の性格を理解しており、また価値観を理解している（物事を評価したり判断する際に、自分が何に価値を置くかを理解している）。	① 自分なりに自身の性格を理解しており、また価値観を理解している。 ② 実際の経験に即して、自分なりに自身の性格や価値観を分析し、その長所や短所を把握できている。	① 自分なりに自身の性格を理解しており、また価値観を理解している。 ② 実際の経験に即して、自分なりに自身の性格や価値観を分析し、その長所や短所を把握できている。 ③ 自身の性格や価値観に対して他者から指摘や意見を受けた場合に、それを受けとめて自己理解に役立てることができる。	① 自分なりに自身の性格を理解しており、また価値観を理解している。 ② 実際の経験に即して、自分なりに自身の性格や価値観を分析し、その長所や短所を把握できている。 ③ 自身の性格や価値観に対して他者から指摘や意見を受けた場合に、それを受けとめて自己理解に役立てることができる。 ④ 自身の長所を活かしたり、短所を改善したり補うことを日ごろから意識している。	① 自分なりに自身の性格を理解しており、また価値観を理解している。 ② 実際の経験に即して、自分なりに自身の性格や価値観を分析し、その長所や短所を把握できている。 ③ 自身の性格や価値観に対して他者から指摘や意見を受けた場合に、それを受けとめて自己理解に役立てることができる。 ④ 自身の長所を活かしたり、短所を改善したり補うことを日ごろから意識している。 ⑤ 何かに取り組む際には、自身の長所を活かしたり短所を補いながら取り組み、より良い成果をあげようと思がけている。

3つの標語		標語の示す能力等		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
対話力	相手の心をよく理解し、自分の意志をしっかりと伝えるために必要な能力・姿勢	協働性	立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢	① 集団で行動（作業、話し合い等）をする際に、他者と協力することの重要性を理解している。 ② 他者と協力して行動することができる。	① 集団で行動（作業、話し合い等）をする際に、他者と協力することの重要性を理解している。 ② 他者と協力して行動することができる。	① 集団で行動（作業、話し合い等）をする際に、他者と協力することの重要性を理解している。 ② 他者と協力して行動することができる。 ③ 集団の目標を常に意識しながら、その達成のために他者と協力して行動することができる。またその際、自分と他者で立場や意見が異なる可能性があることを意識しつつ行動できる。	① 集団で行動（作業、話し合い等）をする際に、他者と協力することの重要性を理解している。 ② 他者と協力して行動することができる。 ③ 集団の目標を常に意識しながら、その達成のために他者と協力して行動することができる。またその際、自分と他者で立場や意見が異なる可能性があることを意識しつつ行動できる。 ④ 他者と協力する際には、他者の立場や意見を尊重し、他者と信頼関係を築けるよう行動することができる。	① 集団で行動（作業、話し合い等）をする際に、他者と協力することの重要性を理解している。 ② 他者と協力して行動することができる。 ③ 集団の目標を常に意識しながら、その達成のために他者と協力して行動することができる。またその際、自分と他者で立場や意見が異なる可能性があることを意識しつつ行動できる。 ④ 他者と協力する際には、他者の立場や意見を尊重し、他者と信頼関係を築けるよう行動することができる。 ⑤ 自らが他者の立場や意見を尊重するだけでなく、他者にもそれを促すことで、集団全体が信頼関係を築けるように働きかけることができる。
		多様性理解	自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢	① 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解している。 ② 自分の価値観とは異なる多様な価値観を尊重し、その社会的・文化的背景に関心を持っている。	① 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解している。 ② 自分の価値観とは異なる多様な価値観を尊重し、その社会的・文化的背景に関心を持っている。 ③ 異なる価値観を持つ人や文化と接することができる。	① 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解している。 ② 自分の価値観とは異なる多様な価値観を尊重し、その社会的・文化的背景に関心を持っている。 ③ 異なる価値観を持つ人や文化と接することができる。 ④ 複数の価値観の間に類似点や相違点を見出すことができる。また、そのような類似点や相違点が生じる理由について考えを巡らせて、自分なりに理解することができる。	① 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解している。 ② 自分の価値観とは異なる多様な価値観を尊重し、その社会的・文化的背景に関心を持っている。 ③ 異なる価値観を持つ人や文化と接することができる。 ④ 複数の価値観の間に類似点や相違点を見出すことができる。また、そのような類似点や相違点が生じる理由について考えを巡らせて、自分なりに理解することができる。 ⑤ 類似点や相違点が生じる理由を理解した上で、偏見を持つことなく様々な価値観を持つ人や文化と交わることができる。	
		表現力	自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢	① 文章や会話で、他者に自分の考えを表すことができる。 ② 自分の考えを過不足なく表現することができる。	① 文章や会話で、他者に自分の考えを表すことができる。 ② 自分の考えを過不足なく表現することができる。 ③ 相手や状況に応じて、表現方法を使い分けだけでなくタイミングや手順も考慮しながら、効果的に自分の考えが伝えられるよう工夫できる。	① 文章や会話で、他者に自分の考えを表すことができる。 ② 自分の考えを過不足なく表現することができる。 ③ 相手や状況に応じて、表現方法を使い分けだけでなくタイミングや手順も考慮しながら、効果的に自分の考えが伝えられるよう工夫できる。 ④ 相手が自分と異なる考えや反対の意見を持っている場合でも、理解を得ようと努められる。	① 文章や会話で、他者に自分の考えを表すことができる。 ② 自分の考えを過不足なく表現することができる。 ③ 相手や状況に応じて、表現方法を使い分けだけでなくタイミングや手順も考慮しながら、効果的に自分の考えが伝えられるよう工夫できる。 ④ 相手が自分と異なる考えや反対の意見を持っている場合でも、理解を得ようと努められる。	① 文章や会話で、他者に自分の考えを表すことができる。 ② 自分の考えを過不足なく表現することができる。 ③ 相手や状況に応じて、表現方法を使い分けだけでなくタイミングや手順も考慮しながら、効果的に自分の考えが伝えられるよう工夫できる。 ④ 相手が自分と異なる考えや反対の意見を持っている場合でも、理解を得ようと努められる。 ⑤ 自分と異なる考えや反対の意見を持っている相手であっても、議論や話し合いを通じて共通点を見出し、一定の理解を得ることができる。
創造性	自分の力で発想し、自らの力で問題を解決するために必要な能力	論理的思考力	筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力	① 客観的な事実と個人の推測とを区別することができる。 ② 物事を考える際に、客観的な事実に基づいて、仮説を立てることができる。	① 客観的な事実と個人の推測とを区別することができる。 ② 物事を考える際に、客観的な事実に基づいて、仮説を立てることができる。 ③ 筋道を立てて設定した仮説を検証することにより、結論を導き出すことができる。	① 客観的な事実と個人の推測とを区別することができる。 ② 物事を考える際に、客観的な事実に基づいて、仮説を立てることができる。 ③ 筋道を立てて設定した仮説を検証することにより、結論を導き出すことができる。 ④ 仮説や結論と矛盾する新たな事実が確認された場合に、新たな事実を踏まえて仮説や結論を構成し直し、矛盾を解消することができる。	① 客観的な事実と個人の推測とを区別することができる。 ② 物事を考える際に、客観的な事実に基づいて、仮説を立てることができる。 ③ 筋道を立てて設定した仮説を検証することにより、結論を導き出すことができる。 ④ 仮説や結論と矛盾する新たな事実が確認された場合に、新たな事実を踏まえて仮説や結論を構成し直し、矛盾を解消することができる。 ⑤ 上のようなプロセスを経て導き出した複数の結論を踏まえて、新たに思考を組み立てたり、普遍的な法則を見出すことができる。	
		問題発見力	現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力	① 何らかの目標を達成しようとする際に、その障害となっている問題に気づくことができる。 ② 障害となっている問題に気づき、自分なりにその解決方法を見出すことができる。	① 何らかの目標を達成しようとする際に、その障害となっている問題に気づくことができる。 ② 障害となっている問題に気づき、自分なりにその解決方法を見出すことができる。 ③ 障害となっている問題を特定するだけでなく、今後起こりうる問題を予測し、自分なりにその解決方法を見出すことができる。	① 何らかの目標を達成しようとする際に、その障害となっている問題に気づくことができる。 ② 障害となっている問題に気づき、自分なりにその解決方法を見出すことができる。 ③ 障害となっている問題を特定するだけでなく、今後起こりうる問題を予測し、自分なりにその解決方法を見出すことができる。 ④ 過去の事例や先人が編み出した問題解決のための理論や方法を参考にしながら、実行可能な解決方法を導き出すことができる。	① 何らかの目標を達成しようとする際に、その障害となっている問題に気づくことができる。 ② 障害となっている問題に気づき、自分なりにその解決方法を見出すことができる。 ③ 障害となっている問題を特定するだけでなく、今後起こりうる問題を予測し、自分なりにその解決方法を見出すことができる。 ④ 過去の事例や先人が編み出した問題解決のための理論や方法を参考にしながら、実行可能な解決方法を導き出すことができる。 ⑤ 上のような問題発見・問題解決の一連の経験を振り返り、成否とその要因を分析し、次なる問題発見につなげることができる。	
		計画・実行力	課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力	① 何らかの目標を達成しようとする際に、あらかじめ計画を立てて達成を目指すことの重要性を理解している。 ② あらかじめ解決方法やスケジュール等を含めた計画を立てることができる。	① 何らかの目標を達成しようとする際に、あらかじめ計画を立てて達成を目指すことの重要性を理解している。 ② あらかじめ解決方法やスケジュール等を含めた計画を立てることができる。 ③ 立てた計画を、実行することができる。	① 何らかの目標を達成しようとする際に、あらかじめ計画を立てて達成を目指すことの重要性を理解している。 ② あらかじめ解決方法やスケジュール等を含めた計画を立てることができる。 ③ 立てた計画を、実行することができる。	① 何らかの目標を達成しようとする際に、あらかじめ計画を立てて達成を目指すことの重要性を理解している。 ② あらかじめ解決方法やスケジュール等を含めた計画を立てることができる。 ③ 立てた計画を、実行することができる。 ④ 計画を実行する過程であらたに判明・発生した事柄に対応して、柔軟に計画を変更し、より有効で実現可能性の高い計画に練り直すことができる。	① 何らかの目標を達成しようとする際に、あらかじめ計画を立てて達成を目指すことの重要性を理解している。 ② あらかじめ解決方法やスケジュール等を含めた計画を立てることができる。 ③ 立てた計画を、実行することができる。 ④ 計画を実行する過程であらたに判明・発生した事柄に対応して、柔軟に計画を変更し、より有効で実現可能性の高い計画に練り直すことができる。 ⑤ 上のような計画・実行の一連の経験を振り返り、成否とその要因を分析し、次なる計画の設定とその実行につなげることができる。